

感染症週報 [市内週報 平成26年第23週]

感染症発生動向調査

平成26年6月10日

平成26年第23週感染症発生状況【川崎市内】

平成26年6月2日～6月8日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届 出	累計(平成26年第1週以降)
第23週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘・突発性発疹でした。 感染性胃腸炎は定点当たり7.52人と前週(9.27)より患者報告数は減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.27人と前週(2.97)より患者報告数は減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。 水痘は定点当たり1.12人と前週(1.21)より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。 突発性発疹は定点当たり1.12人と前週(0.91)より患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 4件	結核 112件
	3類感染症	なし	腸管出血性大腸菌感染症 2件
	4類感染症	レジオネラ症 1件	E型肝炎 2件、A型肝炎 8件、オウム病 4件、 チクングニア熱 1件、デング熱 1件、レジオネラ症 8件
	5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症 1件 梅毒 2件 風しん 1件 麻しん 1件	アメーバ赤痢 5件、急性脳炎 8件、後天性免疫不全症候群 9件 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件、侵襲性肺炎球菌感染症 22件 梅毒 15件、破傷風 1件、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 風しん 15件(臨床診断例9件、検査診断例6件) 麻しん 13件(臨床診断例1件、検査診断例11件、修飾麻しん1件)



